



# YUASA REPORT 140

第140期

2018年4月1日から  
2019年3月31日まで

100<sup>th</sup>  
設立100年の感謝、ともに未来へ。

Growing Together  
ともに挑む。



ユアサ商事株式会社

証券コード：8074

# 成長事業の再強化を加速させ、 中期経営計画の達成に邁進いたします。

代表取締役社長

田村博之



## 2019年3月期 経営成績

売上高	4,936億27百万円 前期比 6.9%増	▲
営業利益	125億17百万円 前期比 9.8%増	▲
経常利益	134億37百万円 前期比 10.6%増	▲
親会社株主に 帰属する 当期純利益	90億38百万円 前期比 9.4%増	▲

株主の皆さまには平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループは、2026年（創業360周年）のあるべき姿として、業界トップレベルの収益構造を持つ複合専門商社グループに成長することを目指す「ユアサビジョン360」を策定し、その第1ステージとなる3カ年の中期経営計画「Growing Together 2020」にグループ全社員一丸となって取り組んでまいりました。

当期はコア事業と経営基盤の強化を継続するとともに、成長事業の再強化をさらに加速させてまいりました。「海外事業」

においては、海外現地企業への販売強化と北米の拠点増加などにより、取引拡大に注力いたしました。「ロボ（AI）&IoT事業」においては、各メーカーとの連携により自律走行型協働ロボットを開発するなどコーディネート力を強化するとともに、国内外のシステムインテグレーターとも連携しノウハウの蓄積も進めてまいりました。

自動化、省人化、AI・IoTなどの情報技術の進化、EV・自動運転の急速な開発・発展などの環境の変化もビジネスチャンスと捉え、ユアサグループの総合力で、的確かつ迅速に対応してまいります。また、

太陽光発電の自家消費システムの提案や、地震や豪雨などの自然災害対策として、災害用備蓄倉庫、水害用防水板、危険なブロック塀の改修など、環境やレジリエンスの社会課題解決にも積極的に取り組んでまいります。

昨年稼働した、双方向プラットフォームECサイト、「Growing Navi」につきましては、掲載企業数、商品数、アクセス数とも順調に増加し、売上増加と業務効率化を着実に進めました。ワンストップでお客様のニーズにお応えすべく、商品ラインナップと機能を充実させ、ECビジネスの拡大にも注力してまいります。

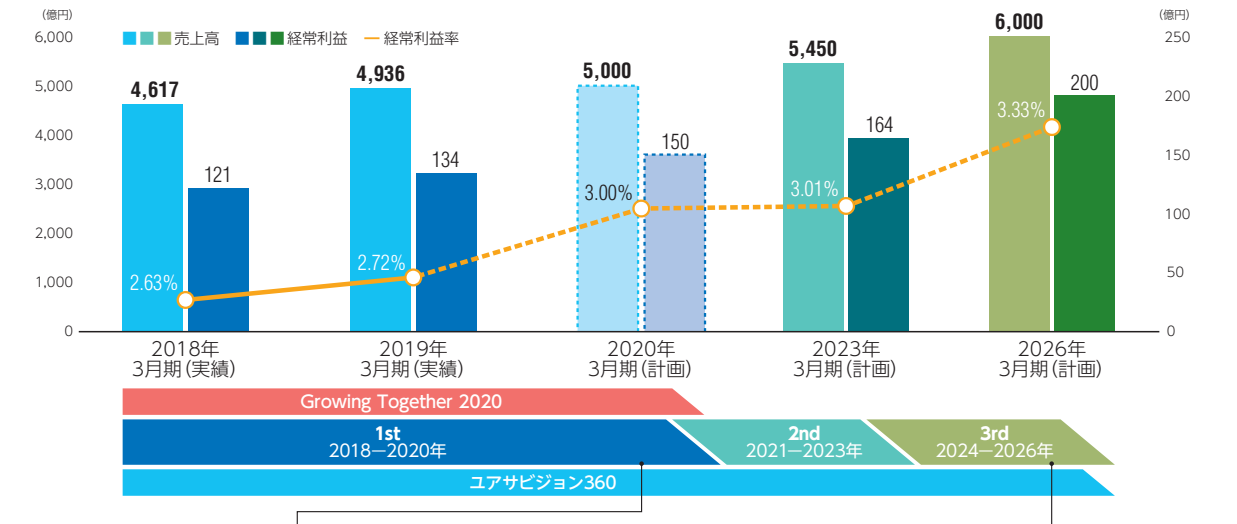
新市場につきましても、新たな事業の柱として、農業や介護・医療分野などの市場開拓を進め、次のステージに向けて着実な一歩を進めてまいります。

配当につきましては、普通配当70円に、会社設立100周年の記念配当10円を加え80円とし、年間配当を1株当たり140円（株主還元率34.3%）とさせていただきます。2020年3月期におきましては、年間配当150円（株主還元率33.2%）を予定しております。引き続き継続的かつ安定的な配当実現に向け、全力で取り組む所存でございます。

株主の皆さまにおかれましては、何卒相変わりがせぬご支援とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

## 長期ビジョンと中期経営計画

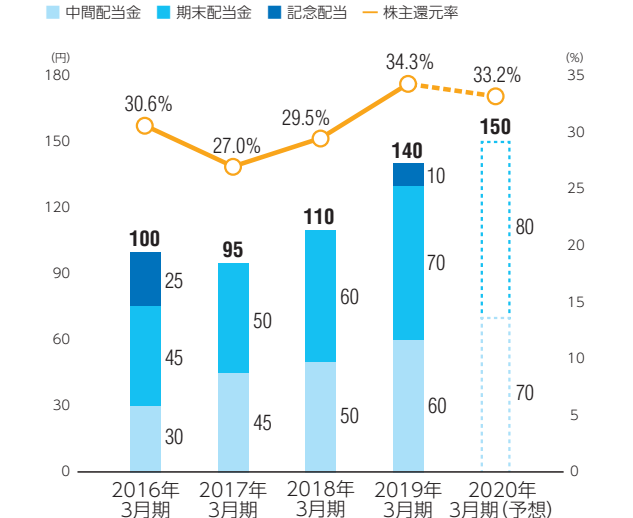
「ユアサビジョン360」2026年（創業360周年）のビジョン  
業界トップレベルの収益構造を持つ複合専門商社グループへの成長を目指します。



## 定量目標 (連結)

	2020年3月期 計画	2026年3月期 計画
売上高	5,000億円	6,000億円
営業利益	140億円	—
経常利益	150億円	200億円
経常利益率	3.0%	3.3%
当期純利益	100億円	—
ROE	12.2%	11.7%
株主還元率	33.2%	33.0%以上

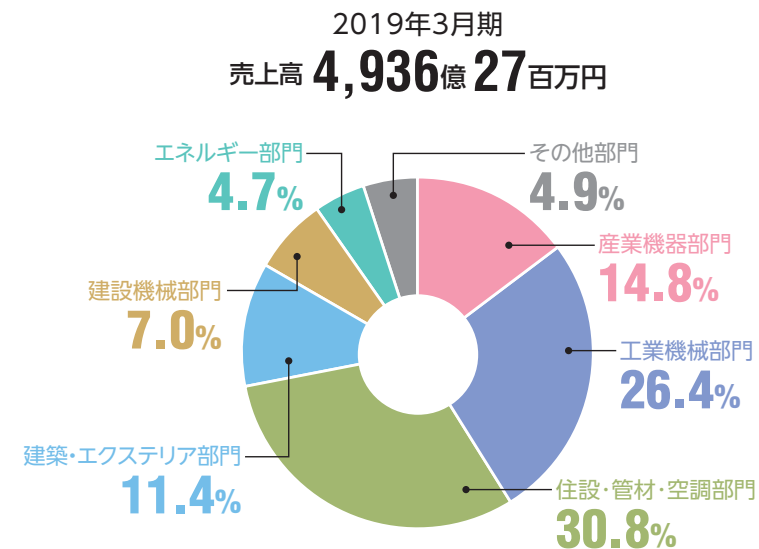
## 1株当たり配当金と株主還元率の推移





セグメント別の概況

セグメント別売上高構成比

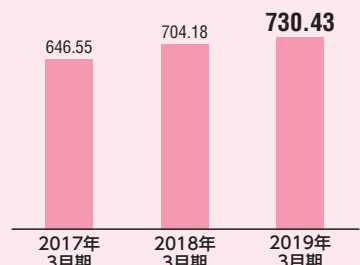


産業機器部門

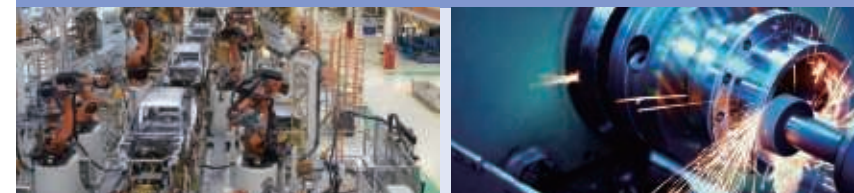


売上高 **730億43**百万円  
前期比 3.7%増

米中貿易摩擦の影響もあり、半導体やスマートフォン関連産業は期の後半にかけ、中国市場中心に需要に減速感もみられたが、自動車関連産業を中心に国内の工場稼働率は底堅さを維持し、自動化・省力化機器、切削工具、測定器具、制御機器などの需要は堅調に推移。

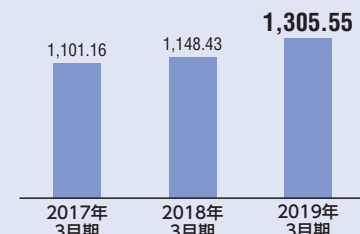


工業機械部門



売上高 **1,305億55**百万円  
前期比 13.7%増

国内の半導体関連産業の需要は、第3四半期以降一服感がみられるも、自動車、建設機械、医療関連産業の工作機械需要は好調に推移。ロボット市場も底堅い自動化需要に支えられ成長維持。海外では自動車関連産業の需要は中国、インド、ベトナム、インドネシアで順調に推移。

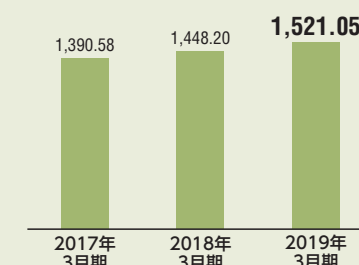


住設・管材・空調部門



売上高 **1,521億5**百万円  
前期比 5.0%増

貸家の新設住宅着工戸数は減少も、マンションや戸建て住宅のリフォーム需要向け住宅設備機器や非住宅分野の空調・管材商品の需要は底堅さを維持。新エネルギー関連では、第3四半期以降、太陽光発電パネルの販売は持ち直し、パワーコンディショナなどの周辺機器の需要も回復がみられた。

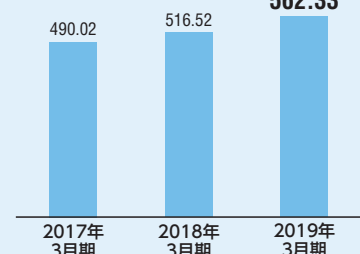


建築・エクステリア部門

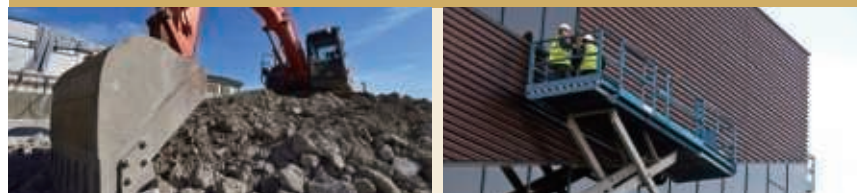


売上高 **562億33**百万円  
前期比 8.9%増

建設技能者不足などによる工期遅延もあったが、首都圏を中心に商業・物流施設向けの景観エクステリア資材及び再開発事業などビル・マンション・ホテル向けの金属建材需要やインフラ関連需要は堅調に推移。また、自然災害の復興需要の本格化により、フェンス・ガードレールなどのエクステリア資材の販売が増加。

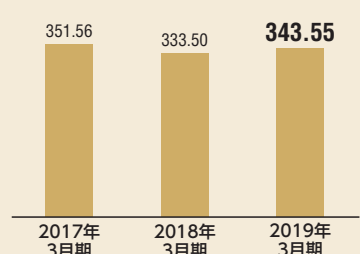


建設機械部門



売上高 **343億55**百万円  
前期比 3.0%増

インフラ整備、災害復旧・復興工事などの公共工事や都市部を中心とした再開発事業により建設機械需要は伸長し、当社が主力とするレンタル業者向け小型建設機械の設備投資需要にも持ち直しの動きがみられた。

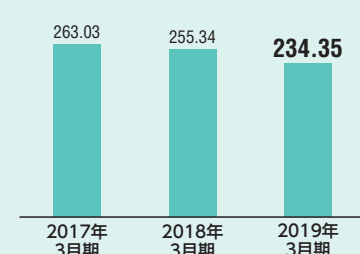


エネルギー部門



売上高 **234億35**百万円  
前期比 8.2%減

石油製品需要の減少が続く中、石油元売事業者の再編の影響や石油製品価格に大きな変動がみられ、市場環境の変化が継続。また、暖冬の影響などにより冬季の灯油需要も低調に推移。

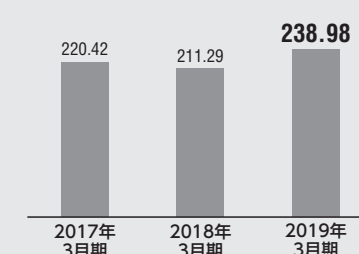


その他部門



売上高 **238億98**百万円  
前期比 13.1%増

消費材事業では、白物家電や調理家電の新商品を投入し、新ECサイト「ユアサプライムス.com」を稼働させるなど販売チャネル拡大。木材事業では、原産地の自然災害や天候不良などでの供給不足の影響があったが、国内における合板需要は梱包材を中心に堅調に推移。

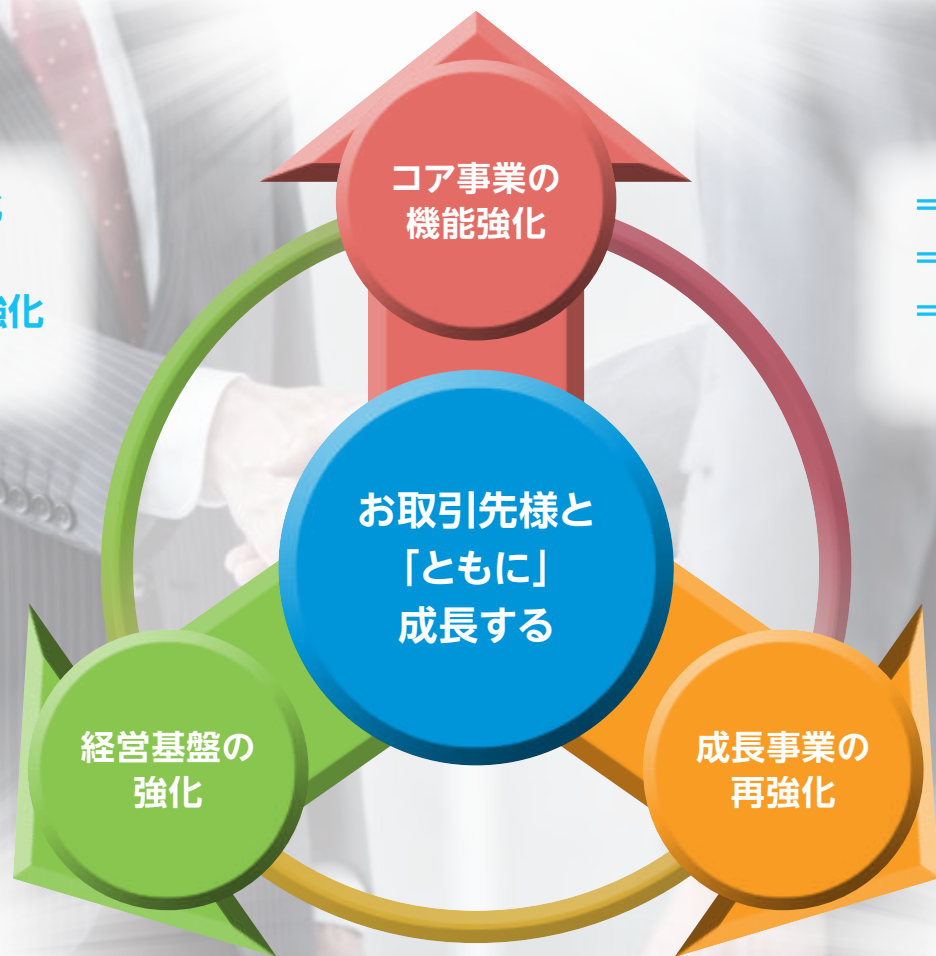




## 機能強化による収益構造改革 グループ全体で総合力を発揮し「モノ売り」から「コト売り」へ

### M&Aの活用

- ⇒ コア事業の機能強化
- ⇒ シナジーの発揮
- ⇒ 成長事業の競争力強化
- ⇒ 新分野開拓



### 組織改革

- ⇒ 地域ブロック制導入
- ⇒ 営業部門統括再編
- ⇒ ロジスティクス戦略室新設

チャレンジする  
企業風土醸成  
「ESG」 「SDGs」の  
取り組み強化

成長事業と  
新分野開拓により  
2ndステージ  
以降の基盤を構築

## コア事業の機能強化

当社ならではの独自機能の発揮により収益力を高める



### 取引先ネットワークの強みを生かした「コーディネーター機能の発揮」

- 自律走行型協働ロボットの開発  
当社グループ会社のロボットエンジニアリング(株)とメーカー各社と共同で開発しています。



- (自家消費対応) 蓄電機能付き太陽光発電システムのパッケージ販売



**ユアサオリジナルPVパッケージ提案**  
エネルギーの自給自足時代に対応した、オリジナルのPVパッケージ提案を開始しています。(蓄電機能搭載パワーコンディショナを標準採用)

- ユアサオリジナルソーラー街路灯の開発など

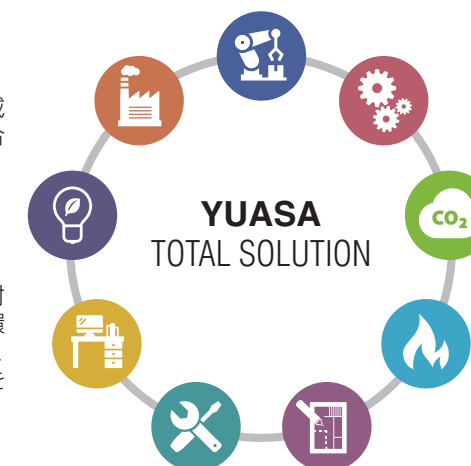


メーカー7社とともに、快適で災害に強い、未来の街づくりをテーマに「ミライノベーションプロジェクト」をスタートし、高性能商品群の開発・提案を行っています。



### グループ総合力による「ワンストップ機能の発揮」

- 総合力によるトータルソリューション  
タテ(営業本部)+ヨコ(地域ブロック)+機能子会社の総合力によるトータルソリューション。
- ワンストップによる課題解決  
設備更新、経費節減、安全対策、災害対策、人手不足、環境対策といった課題に対し、ワンストップによる課題解決を提案。



### 組織改革

- 地域ブロック制の導入  
これまでのタテの営業本部組織に加え、今年4月より地域ブロック制を導入し、ブロック長・拠点長の権限と責任を強化し、タテ<商品戦略>とヨコ<地域戦略>での総合力を発揮。
- 営業部門統括再編  
営業部門統括のもとに省エネ事業を担うYES部、新事業開発を担う新事業開発部、建築事業や専門工事の支援を担う技術支援室を移管し、全社横断で省エネ提案とエンジニアリング機能を活かせる体制を強化。
- ロジスティクス戦略室新設  
当社の物流のコストダウン・効率化を図り、さらなるロジスティクス機能の強化を目指す。



成長事業の再強化

社会的な課題

- 安全・安心
- 労働人口の減少
- 高齢化
- 環境対策
- 災害・防災

海外事業

東南アジア・北米エリアでの新商品&新機能展開により、生産財の輸出事業を拡大します。

解決すべき課題

- 安全・安心
- 労働人口の減少
- 環境対策



現地資本企業への販売と北米事業の強化

工業分野

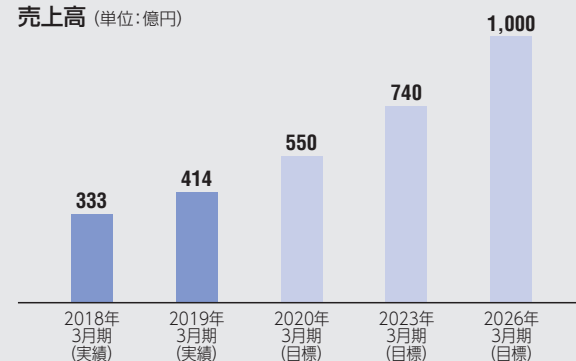
北米事業の強化

2018年2月に米国4拠点目となるニューイングランド支店(写真)を設立、北米事業をさらに強化しております。



ニューイングランド支店

海外事業  
売上高 (単位:億円)



東南アジア各国での独自機能の発揮

住環境分野

東南アジア各国での創エネ&省エネ提案

タイに加え新たにベトナムに人員を配置し、製造現場への創エネ・省エネ提案を強化しております。



産業用太陽光発電システム  
(タイ日系ユーザー様)



高効率ターボ冷凍機  
(ベトナム日系ユーザー様)

建設分野

東南アジア建機販売&中古建機販売

マレーシアの現地法人が持つディストリビューター機能を発揮し、東南アジア各国において高所作業車やミニショベルなどの販売を強化しております。



海外現法にサービススタッフが常駐しメンテナンス対応



中古建機オークション事業 (YUMAC)

最終年度に向けて

今期の強化ポイント

- 工業
  - 現地資本企業との取引拡大
  - 北米事業の強化
- 住環境
  - ベトナム事業の強化
- 建設
  - 販売エリア拡大

継続提案

- 工業
  - 中国:自動化ニーズに対する販売拡大
  - インド:排ガス規制に対応した設備提案
  - ベトナム:現地資本企業への販売拡大
- 住環境
  - 東南アジアにおける省エネ設備提案に注力
- 建設
  - 東南アジアにおける建機販売
  - 中古建機オークション事業 (YUMAC) に農機を追加し商品群拡大

ロボ(AI)&IoT事業

システムインテグレーション機能を持ったロボットエンジニアリング体制をさらに強化し、各分野においてロボ(AI)&IoTによるソリューション営業を展開します。

解決すべき課題

- 安全・安心
- 労働人口の減少
- 高齢化

ワンストップ&コーディネート機能の発揮による事業拡大

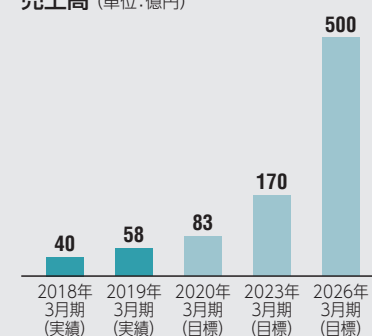
自律走行型協働ロボット提案  
(ロボデックス展・2019年1月)

当社子会社のロボットエンジニアリング(株)とファナック(株)様、日本電産シンポ(株)様、ロボットハンドメーカーシュンク社様を中心となり独自の自動化システムを開発いたしました。



ロボット+無軌道自動搬送車  
(ファナック社/日本電産シンポ社)

ロボ(AI)&IoT事業  
売上高 (単位:億円)



最終年度に向けて

今期の強化ポイント

- 国内外SIerとの連携強化&事業エリア拡大

継続提案

- ロボットエンジニアリング機能(システム提案・設計・構築・アフターサービス)強化
- ロボットシステムの販売強化(産業用ロボット、追従運搬ロボット、パワーアシストスーツ他)

環境・エネルギーソリューション事業

地球環境に貢献する機器やシステムを国内外に販売・普及させ、環境事業を強力に推進します。

解決すべき課題

- 安全・安心
- 環境対策

エネルギーの自給自足、地産地消モデルに向けた提案強化

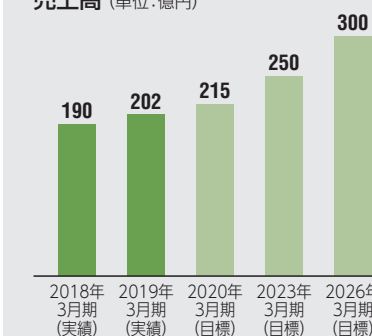
FIT期間満了を見据えての蓄電池提案

2019年FIT(固定価格買取)期間満了を見据え、性能、能力、用途に合わせ複数の蓄電池をお客様のニーズに合わせて提案しています。



2018年12月、スマート住宅EXPOにて各社の蓄電池を展示

環境・エネルギーソリューション事業  
売上高 (単位:億円)



最終年度に向けて

今期の強化ポイント

- 補助金を活用した、学校向け空調提案
- 設計から施工・補助金まで、工場・店舗・オフィス等の省エネをワンストップでご提案

継続提案

- オリジナルPVパッケージ提案
- 電気自動車対応蓄電池提案
- 太陽光発電出力制御オリジナルユニット提案
- 農地におけるソーラーシェアリング提案
- 企業のESG・SDGsに対応したソリューション



成長事業の再強化

新流通事業

ITを活用した情報発信機能を強化し、販売先様との電子商取引事業を拡大します。

解決すべき課題

産業とくらしの双方向プラットフォームを目指す

取引先様との双方向での情報発信

[Growing Navi]では、当社取扱い商品だけでなく販売先さまの取扱い商品の情報発信にも注力しております。



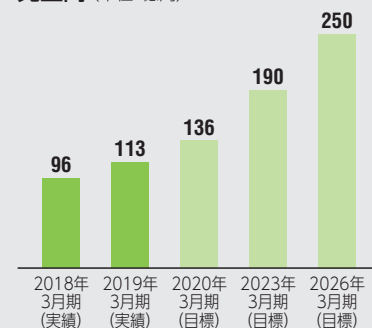
Growing Navi



<https://www.growingnavi.com/>

新流通事業

売上高 (単位:億円)



最終年度に向けて

今期の強化ポイント

- 型番検索機能などさらなる検索機能UP
- 販売先様の取扱い商品の情報発信強化 (双方向プラットフォーム化)

継続提案

- Web-DMやキャンペーンを通じた情報発信
- 即納品 (当日出荷可能商品) の品揃え充実
- 型番一括検索機能、パーツ検索機能など独自機能の強化

レジリエンス&セキュリティ事業

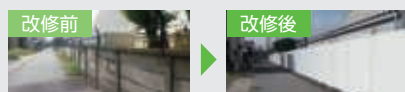
技術のコーディネーターとして未来の街づくりの提案を強化していきます。

解決すべき課題

インフラ強靱化による防災・減災対策と高度なセキュリティ技術により安心・安全な街づくりを提案

危険な「ブロック塀」への対策について

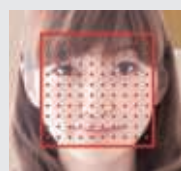
危険なブロック塀対策として、アルミ構造によるシステム塀や、目かくしフェンスをご提案しています。



万年塀から防音目かくし塀への改修事例

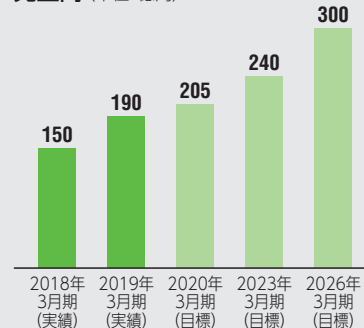
生体認証技術を活用したセキュリティ対策

生体認証技術について、オフィスの入退室管理に加え、工場、住宅、街づくりなどの観点から新たな用途開発をご提案しています。



レジリエンス&セキュリティ事業

売上高 (単位:億円)



最終年度に向けて

今期の強化ポイント

- 危険なブロック塀対策
- 生体認証技術の用途提案 (工場、オフィス、住宅、街づくり、他)

継続提案

- 建設現場向け特殊無線による安全対策



新分野開拓

社会的な課題 安全・安心 労働人口の減少 高齢化 環境対策 災害・防災

人手不足&高齢化の社会課題解決に向け当社グループのノウハウを発揮します

農業分野

農業従事者の負担軽減と効率的な農業を提案しています。

解決すべき課題

IoTを活用したロボットをはじめ豊富な商品ラインナップで農作業の負担軽減と効率的な農業を提案



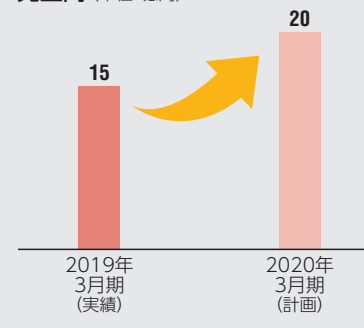
農業ワールドに2年連続出場



農地におけるソーラーシェアリング

農業分野

売上高 (単位:億円)



取扱い商品

- 農地を利用したソーラーシェアリング
- 多機能ロボット
- 収納型コンベア
- ハウス内高所作業車
- パイプ台車
- ミニクレーン
- シャワートイレ付倉庫 など

介護・医療分野

高齢化社会の快適な暮らしを提案しています。

解決すべき課題

高齢化社会の快適な暮らしをハード&ソフトの両面から提案



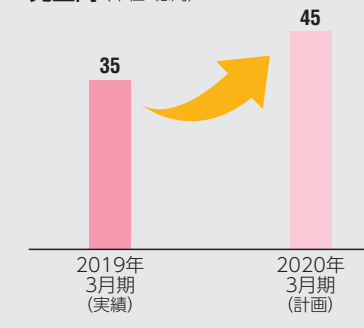
高齢者向け音楽療養コンテンツ「健康王国」



ユニバーサルデザインゲート

介護・医療分野

売上高 (単位:億円)



取扱い商品

- 介護・医療施設への快適な空調整備
- 負担軽減する介護用ロボット (アシストスーツ、アシストウォーカー)
- 介護用ベッド、家具、トイレ
- オルゴール など



経営基盤の強化

人材育成の取組み

- 全PC長組織風土改革合宿 (2018年4月)
- 拠点長・本部長・関係会社代表合宿 (2018年10月)
- PCNo.2合宿 (2019年4月)
- 社長懇談会の開催  
国内拠点で延べ31回、海外3回  
(南アジア・東アジア・北米) 実施



社長懇談会の模様

生産性向上と業務効率化に向けた取組み

- ITを活用した「働き方改革」の実行  
 > モバイルパソコンの導入  
 > 電子稟議の導入  
 > ECサイト「Growing Navi」の活用実施
- 健康経営優良法人  
(ホワイト500)\* に認定



風土改革合宿

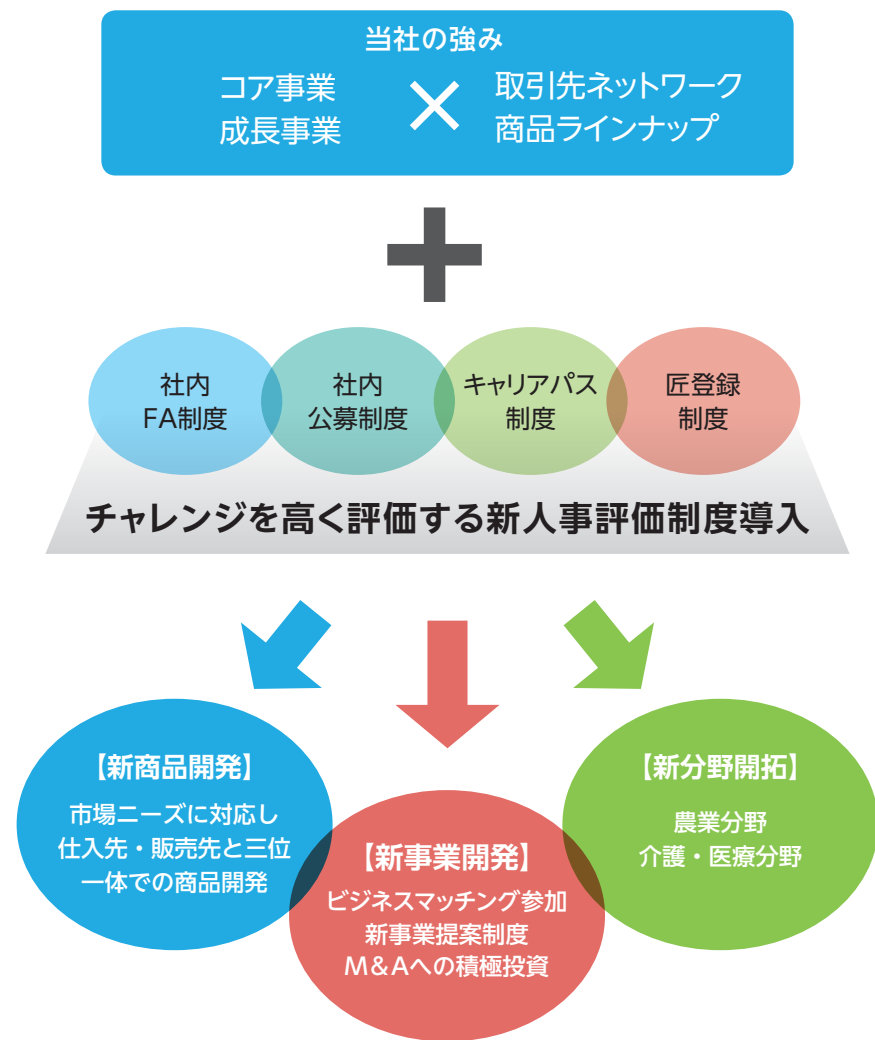


\*経済産業省が主導する優良な健康経営を実践している大規模法人を顕彰する制度。2019年度は当社を含めて821社(内、卸売業は48社)が認定。

ダイバーシティへの取組み

- 女性の一般職から総合職へ転換する制度の導入と管理職への積極登用
- 女性総合職ミーティングや育児両立ミーティングによる環境整備
- 外国人留学生の積極的な採用

挑戦する企業風土の再醸成

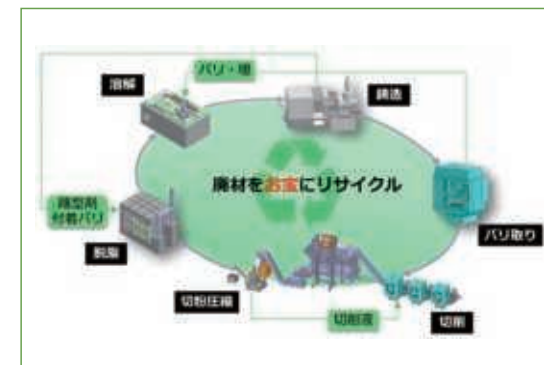


事業を通じた社会課題の解決、ガバナンスの強化



アルミ切粉リサイクルシステム

生産のコスト削減と環境対策を両立  
 グループ会社のユアサテクノ(株)が、工作機械から排出される切粉を高効率でリサイクル可能なシステムを提案。



インフラの強靱化

台風や豪雨時の水害対策  
 高潮や豪雨の際に、自動で作動・格納し浸水を防ぐ防水版を提案。



当社初となる女性社外取締役の就任

6月21日付の株主総会にて就任  
 取締役会等に女性の目線での意見を取入れ、さらに活発な議論を行うとともに、ダイバーシティを推進。



ユアサ商事グループは、国連で採択された「持続可能な開発目標 (SDGs)」の達成に貢献することを意識して、下記の3項目に関する取組みを進めてまいります。

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

クリーンな再生可能エネルギーを高効率で無駄なく活用可能なシステムを提案

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

省人化・無人化を実現させるモノづくり現場をトータルにサポート

11 住み続けられるまちづくりを

災害に強いインフラや情報の共有化を可能にし安心して住める街づくりを提案

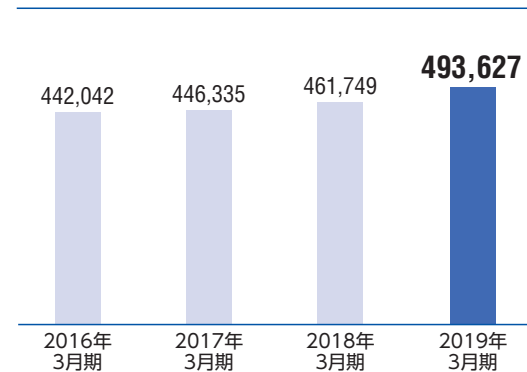
2019年3月期の  
ポイント

**売上高** 第3四半期以降、米中貿易摩擦の影響もあり、海外では一部減速感がみられたものの、国内の設備投資需要は堅調に推移しました。また、新規住宅着工件数は減少もリフォーム、インフラ関連、災害復興需要など堅調に推移し、前年比**6.9%増の4,936億27百万円**となりました。

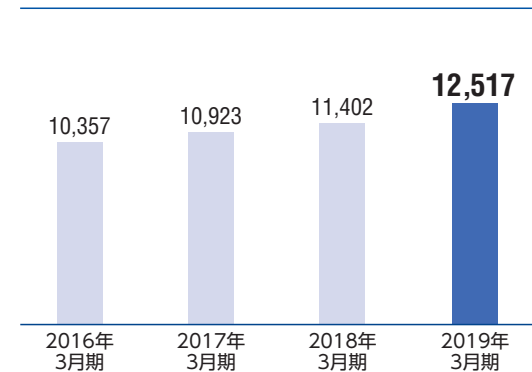
**経常利益** 前期比**10.6%増の134億37百万円**となり、6期連続で過去最高益を更新いたしました。

**配当金** 期末配当は**10円の記念配当**を実施し、普通配当70円と合わせ、**1株当たり80円**とし、中間と合わせて**年間140円（株主還元率34.3%）**とさせていただきます。

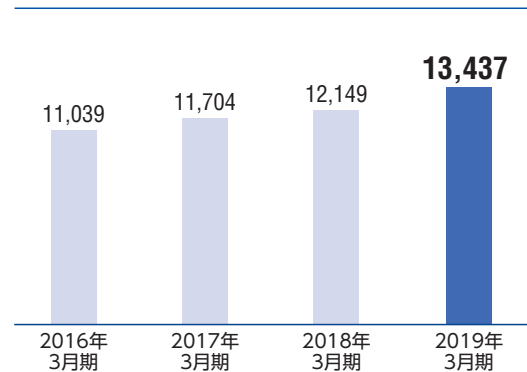
売上高 (百万円)



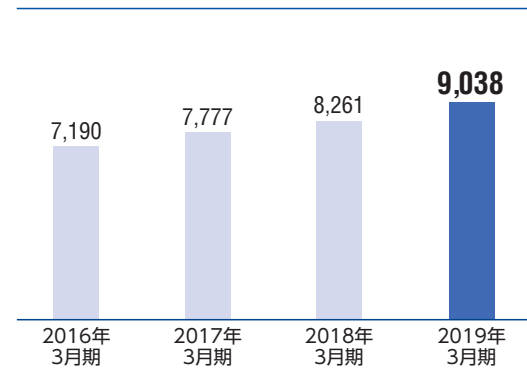
営業利益 (百万円)



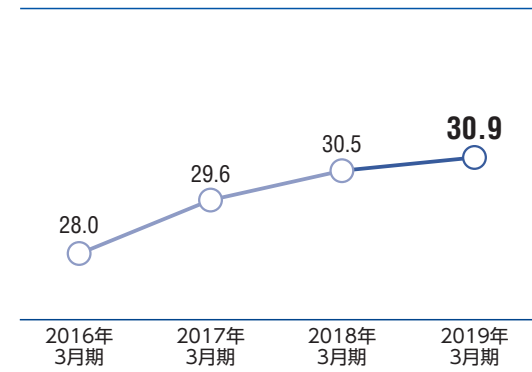
経常利益 (百万円)



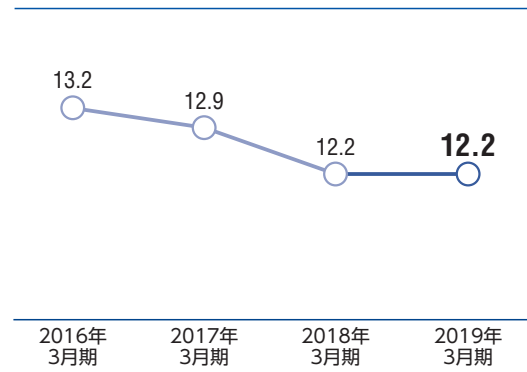
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)



自己資本比率 (%)



ROE (自己資本当期純利益率) (%)



会社概要

商号 ユアサ商事株式会社  
 YUASA TRADING CO., LTD.  
 本社 東京都千代田区神田美土代町7番地  
 創業 1666年(寛文6年)3月  
 設立 1919年(大正8年)6月25日  
 資本金 20,644百万円  
 従業員数 2,108名(連結) 975名(単体)

取締役及び監査役 (2019年6月21日現在)

代表取締役社長	田村 博之
代表取締役専務取締役 経営管理部門統括兼 地域・グループ担当兼 輸出管理委員会委員長兼 倫理・コンプライアンス委員会委員長兼 内部統制委員会委員長	佐野木晴生
専務取締役 住環境マーケット事業本部長兼 ユアサプライム株式会社代表取締役会長兼 友工商事株式会社代表取締役会長兼 ユアサクオビス株式会社代表取締役会長	田中 謙一
常務取締役 工業マーケット事業本部長兼 海外事業推進担当兼 株式会社国興代表取締役会長	高知尾敏之
取締役 経営管理部門副統括兼 総合企画部長兼 営業支援室長	高橋 宣善
取締役 建設マーケット事業本部長兼 ユアサマクロス株式会社代表取締役会長兼 東洋産業株式会社代表取締役会長兼 ユアサ燃料株式会社取締役兼 ユアサ木材株式会社取締役兼 YUASA CONSTRUCTION EQUIPMENT SDN.BHD.取締役	中山 直美
取締役 東部住環境本部長兼 浦安工業株式会社代表取締役会長兼 ユアサクオビス株式会社取締役	広瀬 薫
取締役 機械エンジニアリング本部長	佐古 晴彦
社外取締役	前田 新造
社外取締役	戸谷 圭子
監査役(常勤)	水町 一実
監査役(常勤)	古本 好之
社外監査役	鶴田 進
社外監査役	本田 光宏

(注) 社外取締役を除く取締役は執行役員を兼務しております。

国内ネットワーク

国内拠点	
31拠点 (8支社、12支店、11営業所)	
主な国内関係会社	
産業機器	株式会社国興
工業機械	ユアサテクノ株式会社
	ユアサプロマテック株式会社
住設・管材・空調	ユアサクオビス株式会社
	友工商事株式会社
	浦安工業株式会社
	株式会社マルボシ
建築・エクステリア	株式会社サンエイ
	フシマン商事株式会社
	東洋産業株式会社
建設機械	ユアサマクロス株式会社
エネルギー	ユアサ燃料株式会社
その他	ユアサプライム株式会社
	ユアサ木材株式会社

海外ネットワーク

主な海外関係会社	
湯浅商事(上海)有限公司	中国
深川国孝貿易有限公司	中国
國孝(香港)有限公司	中国
YUASA TRADING (TAIWAN) CO.,LTD.	台湾
YUASA TRADING (THAILAND) CO.,LTD.	タイ
PT. YUASA SHOJI INDONESIA	インドネシア
YUASA MECHATRONICS (M) SDN. BHD.	マレーシア
YUASA TRADING (PHILIPPINES) INC.	フィリピン
YUASA TRADING VIETNAM CO.,LTD.	ベトナム
YUASA TRADING INDIA PRIVATE LIMITED	インド
YUASA-YI, INC.	米国
YUASA SHOJI MEXICO, S.A. DE C.V.	メキシコ

株式の状況

発行可能株式総数…………… 40,000,000株  
 発行済株式総数…………… 23,155,882株  
 (自己株式945,287株を含む)

株主数…………… 7,851名

※単元株式数は100株であります。

大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)	2,540	11.43
日本マスタートラスト信託銀行(株)	1,171	5.27
STATE STREET BANK AND TRUST CLIENT OMNIBUS ACCOUNT OM02 505002	897	4.03
ユアサ炭協持株会	758	3.41
BBH FOR FIDELITY PURITAN TR: FIDELITY SR INTRINSIC OPPORTUNITIES FUND	650	2.92
西部ユアサやまざみ持株会	597	2.68
(株)三井住友銀行	594	2.67
東部ユアサやまざみ持株会	560	2.52
ダイキン工業(株)	452	2.03
ユアサ商事社員持株会	438	1.97
1. 千株未満は切り捨てて表示しております。		
2. 持株比率については、自己株式を控除して算出し小数点第3位以下は切り捨てて表示しております。		
3. 当社は自己株式945千株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。		
4. 上記信託銀行持株数のうち、当該信託銀行の信託業務に係る株式数は、次のとおりであります。		
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	2,540千株	
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	1,171千株	



## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで	
期末配当金 受領株主確定日	3月31日	
中間配当金 受領株主確定日	9月30日	
定時株主総会	毎年6月	
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社	
特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料)	
郵送先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部	
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部	
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL <a href="http://www.yuasa.co.jp/ir/index.html">http://www.yuasa.co.jp/ir/index.html</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)	

### ご注意

- 株主さまの住所変更、単元未満株式の買取請求・買増請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。

## 産業とくらしの グランドフェア2019



本年のグランドフェア ポスターデザイン

当社の販売先様の会である「やまずみ会」が主催し、仕入先様の会である「炭協会」が協賛で開催される展示会「グランドフェア」は、今年で42回目を迎えます。「産業とくらしのグランドフェア2019」では、「SDGs」で示された「17の目標と169のターゲット」を大きなビジネスチャンスと捉え、グランドフェアでの幅広い提案活動と事業展開を通じて、経済成長、社会課題の解決、環境保全がバランスよく達成された持続可能な社会の実現に貢献してまいりたいと考えております。おかげさまで、受注高、ご来場者数ともに年々伸長を続けており、今年は全国5会場合計での受注高目標1,325億円、ご来場者数目標63,800名の達成を目指してまいります。

どなた様でもご来場いただけます。詳しくは「産業とくらしのグランドフェア」特設ホームページをご覧ください。

<http://www.yuasa.co.jp/grandfair/>



地域	開催日	会場	来場者目標
関東	7/5(金)~7/6(土)	幕張メッセ(千葉県)	22,000名
東北	7/19(金)~7/20(土)	夢メッセみやぎ(宮城県)	8,000名
中部	9/6(金)~9/7(土)	ポートメッセなごや(愛知県)	10,500名
九州	9/13(金)~9/14(土)	マリンメッセ福岡(福岡県)	9,300名
関西	9/20(金)~9/21(土)	インテックス大阪(大阪府)	14,000名